

— 実力練成テスト 小学校全科 —

【算数】

1. 次の文は、小学校学習指導要領(平成20年告示)「算数」に示されている教科の目標である。()にあてはまる語句を答えなさい。

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び(①)を身に付け、(②)について見通しをもち筋道を立てて考え、(③)する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な(④)のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする(⑤)を育てる。

2. 次の文は、小学校学習指導要領(平成20年告示)「算数」の第1学年の内容の「A数と計算」に示されている指導内容の一部である。文中の()にあてはまる文を、後のア～エの中から1つ選びなさい。

- (1) ものの個数を数えることなどの活動を通して、数の意味について理解し、数を用いることができるようにする。
 ア (①)
 イ 個数や順番を正しく数えたり表したりすること。
 ウ 数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすること。
 (以下略)

- ア. 万の単位について知ること。
 イ. 同じ大きさの集まりにまとめて数えたり、分類して数えたりすること。
 ウ. ものともものとを対応させることによって、ものの個数を比べること。
 エ. 長さ、面積、体積を直接比べること。

3. 次の文は、小学校学習指導要領解説(平成20年告示)「算数」に関するものである。算数改訂の特徴的な事項の説明として正しくないものを、後のア～オの中から1つ選びなさい。

- ア. 「算数的活動を通して」という文言を目標のはじめに位置付けている。この部分が目標の全体にかかっているという点がこれまでの学習指導要領における目標と異なる点である。
 イ. 算数の授業の中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けることと、身に付けた知識及び技能を活用していくことを重視している。
 ウ. 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図るために、学年間でのスパイラルによる教育課程を重視している。
 エ. 小数及び分数の意味や表し方や、小数及び分数の計算についての内容は、主として第3学年から第6学年に位置付けている。
 オ. 式による表現についての内容に関して、第6学年で「文字を用いた式」(中学校から一部を移行)を位置付けている。

4. 小学校学習指導要領解説(平成20年告示)「算数」の第5学年の〔算数的活動〕では、「四角形の四つの角の大きさの和が 360° になることを演繹的に考え、説明する活動」が説明され、「演繹的に考え説明する方法の代表的なものとして二つの方法がある」としている。後のア～エの中から1つ選びなさい。

- ① 四角形の四つの角の大きさを分度器で計り四つの角の和を計算で求める方法。
 ② 四角形の内部の1点と頂点を結び四つの三角形に分けて考える方法。
 ③ 四角形の四つの角を寄せ集めて隙間なく敷き詰められることを確かめる方法。
 ④ 四角形を1本の対角線で二つの三角形に分けて考える方法。

- ア. ①と② イ. ①と③ ウ. ②と④ エ. ③と④

5. 次の文は、小学校学習指導要領(平成 20 年告示)「算数」に示されている「指導計画の作成と内容の取扱い」の一部である。()にあてはまる語句を答えなさい。

2 第2内容の取扱いについては、次の事項を配慮するものとする。

(1) 数量や図形についての(①)を育てとともに、およその大きさや形をとらえ、それらに基づいて適切に判断したり、(②)な処理の仕方を考え出したりすることができるようにすること。

(2) 思考力、判断力、表現力等を育成するため、各学年の内容の指導に当たっては、(③), 数、式、図、表、グラフを用いて考えたり、説明したり、互いに(④)を表現し合ったりするなどの学習活動を積極的に取り入れるようにすること。

(3) 省略

(4) 筆算による計算の技能を確実に身に付けることを重視するとともに、目的に応じて計算の結果の(⑤)をして、計算の仕方や結果について適切に判断できるようにすること。また、低学年の「A 数と計算」の指導に当たっては、そろばんや具体物などの(⑥)を適宜用いて、数と計算についての意味の理解を(⑦)よう留意すること。

(5) 省略

6. 次の計算をしなさい。

① $(x-3)^2 - (x-4)(x+4)$ ② $(2a-b)^2 - 3(a+b)(a+2b)$ ③ $27x^2y \div (-9xy^2) \times 2y$

④ $\sqrt{24} - \frac{9\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$ ⑤ $(\sqrt{6} - \sqrt{2})(\sqrt{6} + 2\sqrt{2})$ ⑥ $(3\sqrt{5} - \sqrt{3})^2$

7. 次の方程式を解きなさい。

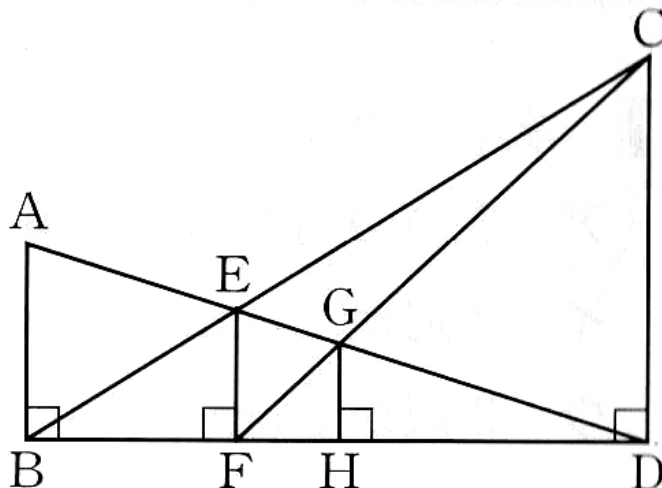
① $x^2 + 6x - 2 = 0$ ② $x^2 - 9x - 10 = 0$ ③ $3x^2 - 7x + 4 = 0$

8. 次の問いに答えなさい。

- (1) 2点A (-4, 7), B (4, -8)間の距離を求めなさい。
- (2) 半径8cmの円Oで、長さが12cmの弦ABは、中心Oから何cmの距離にあるか、答えなさい。
- (3) 2つの対角線の長さが10cm, 16cmであるひし形の1辺の長さを求めなさい。

9. 次の図でAB, CD, EF, GHはいずれもBDに垂直である。AB = 6cm, EF = 4cmのとき、次の問いに答えなさい。

- (1) AE : EDを求めなさい。
- (2) CDの長さを求めなさい。
- (3) GHの長さを求めなさい。



【外国語活動】

1. 次の文は、小学校学習指導要領(平成 20 年告示)に示されている「外国語活動」の教科の目標である。()
にあてはまる語句を答えなさい。

外国語活動を通して、言語や文化について(①)に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の(②)や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

2. 次の文は、小学校学習指導要領(平成 20 年告示)に示されている「外国語活動」の「指導計画の作成と内容の取り扱い」である。()にあてはまる語句を答えなさい。

(2)児童の学習段階を考慮して各学年の指導に当たっては、次のような点に配慮するものとする。

ア 第6 学年における活動

第5 学年の学習を基礎として、(①)とのかかわりを大切にしながら、児童の日常生活や学校生活に加え、国際理解にかかわる(②)等を含んだ体験的な(③)活動を行うようにすること。

3. 次の英文を読んで、後の問いに答えなさい。

Reiko : You use *chopsticks very well !

Lucy : ①What do you call these chopsticks in Japanese ?

Reiko : ②We call them waribashi .

They are useful and clean .

We throw them away .

Lucy : Oh, that's a problem .

About 25 *billion waribashi ③(ア. is イ. are ウ. were) used by Japanese people every year .

I learned it from a book .

Reiko : 25 billion !

That's a lot of wood .

④ (be / chopsticks / used / must) many times .

Lucy : Oh, yes .

(注) chopsticks : はし billion : 10 億, 兆

- (1) 下線部①とほぼ同じ内容を表すように()に適する語を答えなさい。

What (ア) these chopsticks (イ) in Japanese ?

- (2) 下線部②を they を主語にして書き換えなさい。

- (3) ③の()内から適する語を1つ選びなさい。

- (4) ④の()内の語を意味の通る英文になるように並べかえなさい。

【社会】

1. 次の文は、小学校学習指導要領(平成 20 年告示)「社会」に示されている教科の目標である。文中の()
にあてはまる語句を答えなさい。

社会生活についての理解を図り、(①)と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な(②)の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

2. 次の文は、小学校学習指導要領(平成 20 年告示)「社会」の各学年の目標の一部である。次の問いに答えなさい。

ア. 日常生活における(①)の働きと我が国の(①)の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の(②)を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。
 イ. 地域の産業や(③)の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、(④)の一員としての自覚をもつようにする。
 ウ. 我が国の国土の様子、国土の(⑤)と(⑥)との関連について理解できるようにし、(⑤)の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする。

(1) 文中の()にあてはまる語句を、後の a～j の中からそれぞれ選びなさい。

- a. 地位 b. 経済 c. 国民生活 d. 政治 e. 消費生活
 f. 土地利用 g. 自然環境 h. 役割 i. 地域社会 j. 環境

(2) ア～ウは、それぞれ何学年の目標か。あてはまる学年を後の A～C の中から選びなさい。

- A. 第3学年及び第4学年 B. 第5学年 C. 第6学年

(3) 下線部で、人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動とは、具体的にどのような活動を指しているか・学習指導要領に挙げられているものの中から2つ答えなさい。

(4) 次の文は、小学校学習指導要領学校「社会」の「各学年の目標及び内容」の「目標」において、育てるべき表現力について各学年に共通している部分を抜き出したものである。()にあてはまる語句を答えなさい。

(①)や(②)を表現する力を育てるようにする。

3. 右の表を見て、後の問いに答えなさい。

- (1) A～Cにあてはまる税の名称を答えなさい。
 (2) 所得税について正しく述べたものを、後のア～ウの中から1つ選びなさい。

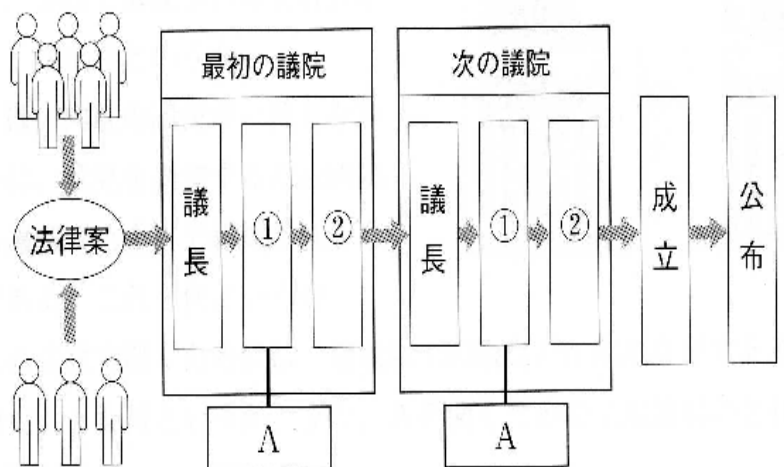
	A	B
国税	所得税 相続税	消費税 酒税
C	都道府県民税 市町村民税	都道府県たばこ税 市長村たばこ税

- ア. 金額に関係なく税率は決まっている。
 イ. 商品を買ったときに払う税である。
 ウ. 高収入の人ほど高い税率がかけられる。

4. 右の図を見て、後の問いに答えなさい。

- (1) 図の①・②にあてはまる語句を答えなさい。
 (2) 法律案を提出できるのはどれか。後のア～カの中からすべて選びなさい。

- ア. 一般の国民
 イ. 内閣
 ウ. 都道府県知事
 エ. 最高裁判所の裁判官
 オ. 国会議員
 カ. 地方議会議員



- (3) 図のAは、重要な問題のとき、専門家や利害関係者などの意見を聴く会である。その会の名称を答えなさい。
 (4) 成立した法律を公布するのは誰か、答えなさい。

【生活】

1. 小学校学習指導要領(平成 20 年告示)に示されている「生活」の教科の目標である。()にあてはまる語句を答えなさい。

具体的な(①)や体験を通して、自分と(②), (③)及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、(④)への基礎を養う。

2. 次の文は、小学校学習指導要領解説(平成 20 年告示)「生活」の教科目標の趣旨について記したものである。()にあてはまる語句を答えなさい。

ここでいう自立とは、以下に述べる三つの自立を意味している。

第1は、自分にとって興味・関心があり、(①)と感じられる学習活動を自ら選んで行うことができるということであり、自分の思いや考えなどを適切な方法で表現できるという(②)の自立である。

第2は、生活上必要な習慣や技能を身に付けて、身近な人々、社会及び自然と適切にかかわることができるようになり、自らよりよい生活を創り出していくことができるという(③)の自立である。

第3は、自分のよさや可能性に気付き、意欲や自信をもつことによって、現在及び将来における(④)の在り方に夢や希望をもち、前向きに生活していくことができるという(⑤)な自立である。

3. 小学校学習指導要領(平成 20 年告示)に示されている「生活」の「指導計画の作成と内容の取扱い」である。()にあてはまる語句を答えなさい。

自分と地域の人々、社会及び自然とのかかわりが具体的に把握できるような学習活動を行うこととし、()での活動を積極的に取り入れること。

【総合的な学習の時間】

1. 次の文は、小学校学習指導要領解説(平成 20 年告示)に示されている「総合的な学習の時間」の目標の趣旨である。()にあてはまる語句を、後のア～ノの中からそれぞれ選びなさい。

(5) 自己の生き方を考えることができるようにすること

総合的な学習の時間において、横断的・総合的な学習や(①)な学習を通して、自己の生き方を考えることができるようにすることが大切である。

「自己の生き方を考えることができる」とは、以下の三つのことである。

一つには、人や社会、(②)とのかかわりにおいて、自らの生活や(③)について考えていくことである。社会や自然の中に生きる(④)として、何をすべきか、どのようにすべきかなどを考えることである。

二つには、自分にとっての学ぶことの意味や(⑤)を考えていくことである。取り組んだ学習活動を通して、自分の考えや(⑥)を深めることであり、また、学習の(⑦)を味わうなどして学ぶことの意味を自覚することである。

これらの二つを生かしながら、学んだことを(⑧)及び将来の自己の生き方につなげて考えることが三つめである。学習の成果から(⑨)や自信をもち、自分の(⑩)や可能性に気付き、自分の人生や将来について考えていくことである。

ア. よさ	イ. 価値	ウ. 過去	エ. 研究的	オ. 達成感
カ. 自然	キ. 環境	ク. 長所	ケ. 意味	コ. 成就感
サ. 探究的	シ. 意義	ス. 言動	セ. 人	ソ. 人間
タ. 有用感	チ. 現在	ツ. 結果	テ. 意見	ト. 一員
ナ. 成果	ニ. 楽しさ	ヌ. 未来	ネ. 短所	ノ. 行動

【図工】

1. 次の文は、小学校学習指導要領(平成20年告示)「図画工作」の教科の目標である。()にあてはまる語句を答えなさい。

表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、(①)を味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を(②), (③)を養う。

2. 次の文①～⑤は、小学校学習指導要領(平成20年告示)「図画工作」の第1学年及び第2学年の内容についての記述である。正しいものを、後の①～⑤の中から1つ選びなさい。

- ① 自分の考えでつくることを主とし、必要に応じて、紙の切り方や折り方などを理解してつくること。
- ② 感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。
- ③ 自然物や人口の材料の色や形に関心をもち、それからつくりたいものを思いついたり、それを身体について楽しんだりするなどの造形的な遊びをすること。
- ④ 形や色などに関心をもち、クレヨン、パスなどのいろいろな色を使って思いのままに絵に表したり、平易な版をつくって表したりすること。
- ⑤ 自分たちの作品や身近な美術作品や製作の過程などを鑑賞して、よさや面白さを感じ取ること。

3. 次の文①～④は、小学校学習指導要領解説(平成20年告示)「図画工作」の改善の具体的事項についての記述である。正しいものを、後の①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 育成する資質や能力を整理し、表現や鑑賞の過程で働く力を明確にするとともに、それらが個々に働くように内容の改善を図る。また、児童が教えられたことをもとに形や色、イメージなどを思い出して活動することができるように、領域や項目などを通して働く資質や能力を〔共通事項〕として示す。
- ② 生活や社会とのかかわり、ものをつくる楽しさなどの観点から、視覚や触覚を働かせて材料や用具などを選んでつくったり、身の回りの景色やものなどから見つけたことをまとめ、個々で再確認する活動を児童の能力に応じて整理して示す。
- ③ 鑑賞においては、よさや美しさを鑑賞する喜びを味わうようにするとともに、自分の思いを語る、友達と共に考える、感じたことを確かめるなどを通して、自分自身で意味を読み取り、よさや美しさなどを判断する活動の充実を図る。
- ④ 暮らしの中の造形や昔の親しみのある表現などに関する学習では、作品のよさや美しさを作品に関する解説を理解させたいうで味わったり感じたりすることを重視とする。

4. 次の文は、小学校学習指導要領解説(平成20年告示)「図画工作」の「指導計画の作成と内容の取り扱い」の事故防止に関する留意事項である。()にあてはまる語句を答えなさい。

材料や用具については、安全な扱い方について指導することが重要である。その際、教師の一方的な説明で終わるのではなく、実際に取り扱うなどして、児童が実感的に理解することが必要である。(①)のある用具や(②)の用具などでは、特に事故がないように配慮する必要がある。(③)には、樹脂を高温で溶かして使うものや接着力の強いものがあるので、皮膚などについての場合の危険性などを事前に児童が理解しておく必要がある。固定して使用することになっている用具は、(④)を用意するなどして動かないようにする必要がある。活動場所については、事前の点検が必要である。例えば、(⑤)での活動や高い場所での活動が予想される場合には、水の量や濁り、足場の安定や手すりの高さなどを調べ、安全や衛生面を確認する必要がある。

5. 次の文を読んで、()にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを、後のア～オの中から1つ選びなさい。

木材を釘で接合する際は、はじめに釘を打つ場所に、(①)を両手でもむように回して穴をあける。次に、金づちの(②)を使用して、釘を打ち始める。打ち終わりは、木材に傷がつかないように金づちの(③)で、釘を打ちこむ。

ア	①：きり	②：平らな面	③：丸みのある面
イ	①：きり	②：丸みのある面	③：平らな面
ウ	①：ドリル	②：丸みのある面	③：平らな面
エ	①：ドリル	②：平らな面	③：平らな面
オ	①：ドリル	②：平らな面	③：丸みのある面

6. 色彩に関する記述のうち、正しくないものを、後の①～⑤の中から1つ選びなさい。

- ① 色の三原色は赤・青・黄の三色で、三色を混合すると黒に近い色になる。
- ② 色の三属性は色味(色相), 明るさ(明度), 鮮やかさ(彩度)のことである。
- ③ 無彩色とは、三属性のうち色相だけをもつ色のことで、白・灰・黒色のことである。
- ④ 色相の似ている色を順番に環状に並べたものを色相環という。色相環で向かい合った位置にある色を補色という。
- ⑤ 光の色は重ねて混ぜ合わせるほど明るさが増し、無色透明な状態に近づく。このような明るさが増す混色を加法混色という。

7. 次の①～③の技法の名称を、後のA～Iの中からそれぞれ選びなさい。

- ① ろうやクレヨンで絵を描いた上から水彩絵の具を塗り、絵柄を鮮明に浮き上がらせる技法。
- ② 水面に油彩の絵の具や墨汁をたらして、できた模様を紙や布などに写し取る技法。
- ③ 二つ折りにした紙の内側に絵の具をたらし、外側から押しつけて開くことにより、対称形をつくる技法。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| A. フロッタージュ | B. デカルコマニー | C. コラージュ |
| D. マーブリング | E. マスキング | F. グラデーション |
| G. スパッタリング | H. バチック | I. スクラッチ |

－ 解 答 －

【算数 30点】

- 1 [1点×5] ①：技能 ②：日常の事象 ③：表現 ④：処理 ⑤：態度
 2 [1点] ウ
 3 [1点] ア
 4 [1点] ウ
 5 [1点×7] ①：豊かな感覚 ②能率的 ③：言葉 ④：自分の考え ⑤：見積り ⑥：教具 ⑦：深める
 6 [1点×6] ①： $-6x+25$ ②： $a^2-13ab-5b^2$ ③： $-6x$ ④： $-\sqrt{6}$ ⑤： $2+2\sqrt{3}$ ⑥： $48-6\sqrt{15}$
 7 [1点×3] ①： $x=-3\pm\sqrt{11}$ ②： $x=10, x=-1$ ③： $x=\frac{4}{3}, x=1$

⇒2次方程式 $ax^2+bx+c=0$ の解は、で求めることができる。

- 8 [1点×3] (1)：17 (2)： $2\sqrt{7}$ cm (3)： $\sqrt{89}$ cm

⇒(1)：2 A, Bの座標をA (x_1, y_1), B (x_2, y_2) とすると $AB=\sqrt{(x_2-x_1)^2+(y_2-y_1)^2}$ 。

$$\sqrt{(4-(-4))^2+(-8-7)^2}=\sqrt{289}=17。$$

$$(2)：12\div 2=6 \text{ (cm)}, \sqrt{8^2-6^2}=2\sqrt{7} \text{ (cm)}。$$

(3)：直角をはさむ2辺の長さが5 cm, 8 cmの直角三角形の斜辺の長さを求めればよい。 $\sqrt{5^2+8^2}=\sqrt{89}$ (cm)。

- 9 [1点×3] (1) 1：2 (2)：12 cm (3)：3 cm

⇒(1)：AB//EFだから、AD：ED=AB：EF=6：4=3：2 よって、AE：ED=(3-2)：2=1：2。(2)：AB//CDだから、AB：CD=AE：ED、6：CD=1：2、CD=12 [cm]。(3)：EF//CDだから、GF：GC=EF：CD=4：12=1：3。GH//CDだから、GH：CD=GF：CF、GH：12=1：(1+3)、GH=3 [cm]

【外国語活動 10点】

- 1 [1点×2] ①：体験的 ②：音声
 2 [1点×3] ①：友達 ②：交流 ③：コミュニケーション
 3 [1点×5] (1)ア：are イ：called (2)：are called waribashi (3)：イ
 (4)：Chopsticks must be used

⇒(1)：these chopsticks を主語にした受動態の文にする。(2)：「それらは『わりばし』と呼ばれている」という意味の受動態の文になる。(4)：助動詞が入る受動態の文は、<助動詞+be+過去分詞>の語順。

全訳

レイコ：あなたは何て上手におはしを使うのかしら！
 ルーシー：日本語で、このおはしを何と呼んでいるの？
 レイコ：『わりばし』と呼んでいるわ。便利で清潔よ。使い捨てしてるのよ。
 ルーシー：まあ、それは問題だわ。250億本ぐらいの『わりばし』が毎年日本人に使われているのよ。本で学んだの。
 レイコ：250億ですって！ 大変な量の木材だわ。おはしは何度も使わなくてはいけないわね。
 ルーシー：ええ、そうよね。

【社会 25点】

- 1 [1点×2] ①：我が国の国土 ②：国家・社会
 2 [1点×13] (1)①：d ②：h ③：e ④：i ⑤：j ⑥：c (2)ア：C イ：A ウ：B
 (3)[例]飲料水の各府、廃棄物の処理 (4)①：調べたこと ②：考えたこと
 3 [1点×4] (1)A：直接税 B：間接税 C：地方税 (2)：ウ
 4 [1点×6] (1)①：委員会 ②：本会議 (2)：イ, オ (3)：公聴会 (4)：天皇

【生活 10 点】

- 1 [1点×4] ①：活動 ②：身近な人々 ③：社会 ④：自立
 2 [1点×5] ①：価値 ②：学习上 ③：生活上 ④：自分自身 ⑤：精神的
 3 [1点] 校外

【総合的な学習の時間 10 点】

- 1 [1点×10] ①：サ ②：カ ③：ノ ④：ト ⑤：イ ⑥：テ ⑦：タ ⑧：チ ⑨：オ ⑩：ア

【図工 15 点】

- 1 [1点×3] ①：つくりだす喜び ②：培い ③：豊かな情操
 2 [1点] ②
 3 [1点] ③

⇒小学校学習指導要領解説「図画工作」p3「(ii)改善の具体的事項」(ア)～(エ)からの出題。

- 4 [1点×5] ①：鋭い刃 ②：電動式 ③：接着剤 ④：台座 ⑤：プールサイド
 5 [1点] ア

⇒げんのうの頭は一方が平らで、もう一方は丸みがある。打ち始めは、釘が曲がったり、打ちそこなったりしないように、柄を短く持って軽く打つようにする。最後は、板に傷がつかないように、丸みのある面で釘をしっかりと打ち込む。打ち始めは釘が安定しないので、きりで下穴を開けておくと、ひび割れも防止できる。

- 6 [1点] ③

⇒3原色は赤、青、黄で、この3原色は他の色を混色してつくることが出来ない。彩度・明度・色相の三属性は最も基本的な事項である。有彩色を順序だてて円に並べたものを色相環という。この色相環で向かい合った位置にある色同士を補色というが、これは色相(色味)が、まったく正反対である。同じ3原色でも光の3原色は、赤・緑・青。加法混色ではこの3原色が重なると最も明るい白(透明)となる。赤・青・黄の3原色とは異なる。

- 7 [1点×3] ①：H ②：D ③：B

実力練成テスト 小学校全科 解答用紙

【算数 30点】

1	① 問1	② 問2	③ 問3	④ 問4	⑤ 問5	
2	問6	3 問7	4 問8			
5	① 問9	② 問10	③ 問11	④ 問12		
	⑤ 問13	⑥ 問14	⑦ 問15			
6	① 問16	② 問17	③ 問18	④ 問19	⑤ 問20	⑥ 問21
7	① 問22	② 問23	③ 問24			
8	(1) 問25	(2) 問26	(3) 問27			
9	(1) 問28	(2) 問29	(3) 問30			

【外国語活動 10点】

1	① 問31	② 問32	2	① 問33	② 問34	③ 問35
3	(1)ア 問36	イ 問37	(2) 問38	(3) 問39		
	(4) 問40					

【社会 25点】

1	① 問41	② 問42							
2	(1)① 問43	② 問44	③ 問45	④ 問46	⑤ 問47	⑥ 問48	(2)ア 問49	イ 問50	ウ 問51
	(3) 問52	問53	(4)① 問54	② 問55					
3	(1)A 問56	B 問57	C 問58	(2) 問59					
4	(1)① 問60	② 問61	(2) 問62	問63	(3) 問64	(4) 問65			

【生活 10点】

1	① 問66	② 問67	③ 問68	④ 問69	
2	① 問70	② 問71	③ 問72	④ 問73	⑤ 問74
3	問75				

【総合的な学習の時間 10点】

1	① 問76	② 問77	③ 問78	④ 問79	⑤ 問80	⑥ 問81	⑦ 問82	⑧ 問83	⑨ 問84	⑩ 問85
---	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

【図工 15点】

1	① 問86	② 問87	③ 問88		
2	問89				
3	問90				

4	①	問 91	②	問 92	③	問 93	④	問 94	⑤	問 95		
5	問 96		6	問 97		7	①	問 98	②	問 99	③	問 100

科目	算数	外国語 活動	社会	生活	総合的 な学習	図工	総合
得点	/30	/10	/25	/10	/10	/15	/100